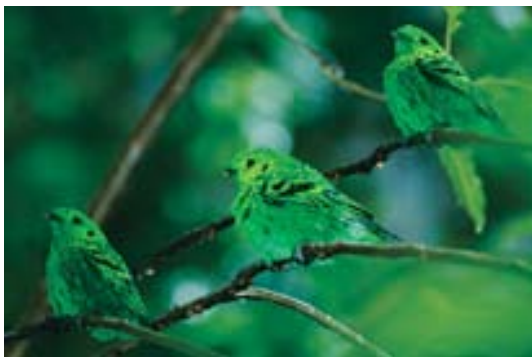
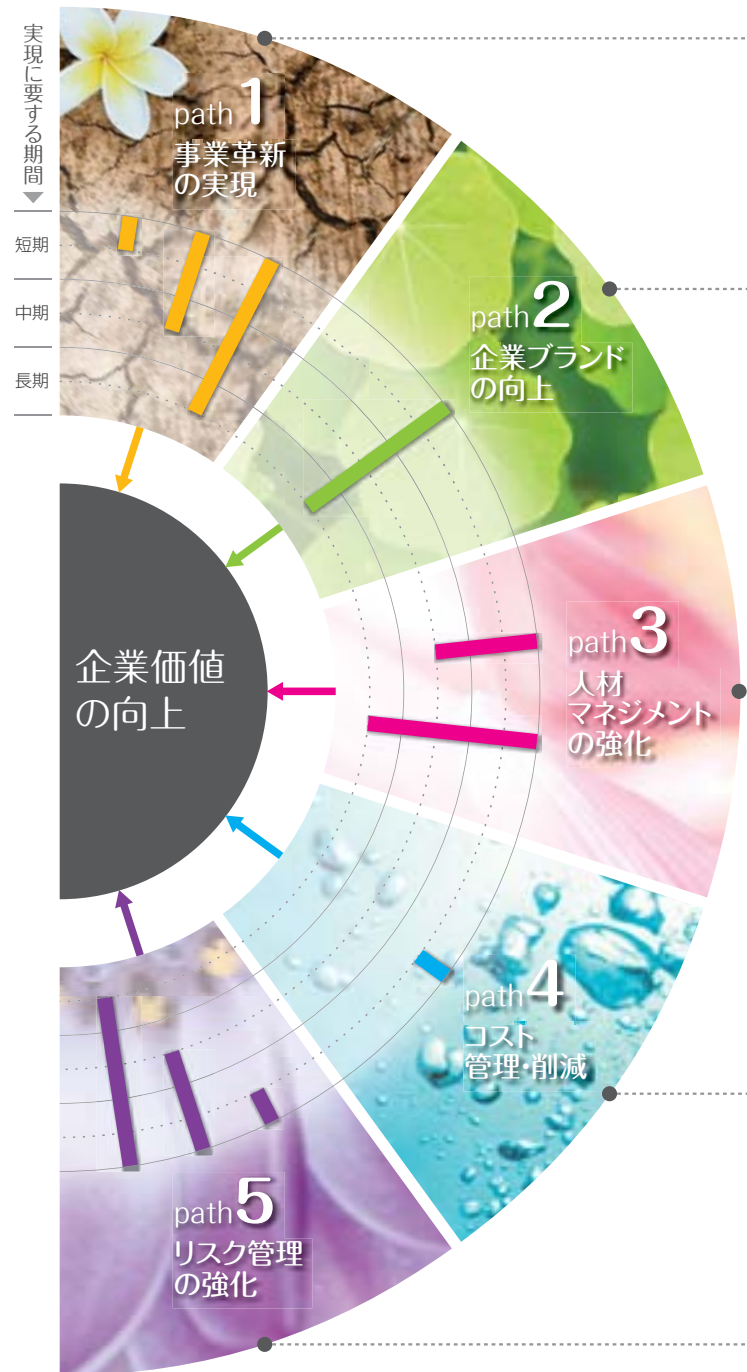


# 5つのパス(経路)

## ■ 5つのパス(経路)とは

CSRに積極的に取り組むことが、企業価値の向上に結びつくという考え方が徐々に認知され始めています。当社は(1)事業革新の実現、(2)企業ブランドの向上、(3)人材マネジメントの強化、(4)コスト管理・削減、(5)リスク管理の強化、の5つを当社自身の企業価値の向上へのパス(経路)と位置付け、それぞれの取り組みを日々強化しています。また、当社では、CSR活動を「5つのパス」と「実現までの時間軸」の2次元で構成される事業ポートフォリオに再構築して把握しています。例えば、Path4の「コスト管理・削減」は経費の圧縮などを通じて比較的早期に企業価値の向上に寄与するので、「実現までの時間軸」は短期であると考えられます。一方、Path2の「企業ブランドの向上」に資する取り組みは、すぐに結果が出る性質のものではないので、「実現までの時間軸」は長期であると考えられます。このように、それぞれのパスについて時間軸を設定し、CSR活動の全体像を把握しています。当社はこの5つのパスのコンセプトを、当社自身が組成するSRI(社会的責任投資)の、投資対象企業に対する評価軸にも適用しており、CSRとSRIは表裏一体のものとして認識しています。



表紙写真: ミドリヒロハン [Calyptomena viridis]

ミドリヒロハン は絶滅危惧種に指定されている生物です。住友信託銀行は希少種の保護など、生物多様性保全のための取り組みを推進していきます。

# CONTENTS

トップメッセージ	2
巻頭特集	
1. 環境不動産	4
2. 60歳のラブレター	6
3. SRI (社会的責任投資)	8

地球温暖化問題の深刻化や少子高齢社会の進行がもたらすひずみなど、社会が抱えるさまざまな問題・課題に「金融」機能を活用し解決に貢献することが、当社CSRの重要なテーマです。当社は、社会の持続可能な発展と当社自身の企業価値の向上の双方に資するような新しい金融事業の創造に積極的に取り組みます。

▶ P.10

当パスの概要	10
住友信託銀行の「エコ・トラスティーション」	12
中国における環境・CSRの取り組み	19
社会的課題の解決に資する金融商品・サービス	20
SRI (社会的責任投資)への取り組み	23
ステークホルダー・ダイアログ: 日本においてSRIを普及させるには何が必要か。	25

企業ブランドは、人々がその企業の社員や提供するサービスに接した「体験」の積み重ねによって醸成されるものです。当社は、CS(お客様満足)活動の推進や「顔の見える」社会貢献活動(With You活動)などを通じ、ブランド力を向上させ企業価値を高めます。

▶ P.30

当パスの概要	30
お客様から信頼をいただくための取り組み	32
“With You”の取り組み(社会貢献活動)	36

「人」は社会が持続的に発展するうえでの礎です。当社は、人の可能性を最大限に引き出し、その成長に資する「人材マネジメント」を通じて、当社自身の企業価値の向上を実現することはもちろん、真に社会に貢献する人材を育成していきたいと考えています。その実現のために、人事制度の充実や働きやすい職場環境づくりに努めます。

▶ P.40

当パスの概要	40
従業員と住友信託銀行	42

当社は、環境に配慮した経営の仕組みを構築する中で、日常業務において生じる環境負荷を低減するための取り組みと、その実践過程におけるコスト管理、そしてその成果としてのコスト削減を重視しています。また、調達先などをCSR的な視点で選別することで、サプライチェーン\*にかかわるさまざまなリスクを回避しており、コスト増を抑制する効果も追求します。

▶ P.46

当パスの概要	46
環境配慮によるコスト管理・削減	48

法令や社会規範の遵守、個人情報保護などによって不測の事態の発生を防ぎ企業価値を守ることは、ステークホルダーの皆様に対して企業が負うべき最低限の責務です。当社は、これらに加え、多様化・複雑化する業務に伴うさまざまな事業リスクに対応する内部統制システムおよびコーポレート・ガバナンス(企業統治)体制を構築し、リスク管理を強化します。

▶ P.50

当パスの概要	50
主要なリスクと取り組み方針	52
コンプライアンス	54
コーポレート・ガバナンスなど	56
システム障害の発生と対応	57

\* 顧客に価値をもたらしている製品、サービス、情報を供給しているビジネスの諸過程

第三者コメント	58
住友信託銀行のCSR	59
推進責任者コメント	62
会社概要/主要な子会社・関連会社	63